

中国残留邦人への 理解を深める シンポジウム

63年前、当時「満洲」と呼ばれていた中国の東北地方では、突然のソ連参戦により、多くの日本人が混乱のうちに避難することになりました。極限状態の中、親と別れ中国人に育てられた人たち、中国に生活の場を見いだした人たち、これらの方々が中国残留邦人と呼ばれる人たちです。

1972年の日中国交正常化の後、多くの中国残留邦人が帰国しました。帰国した中国残留邦人の方々は、生活基盤を築こうと懸命の努力を続けていますが、長年の中国における生活が日本における適応を難しくしています。今もなお、言葉の壁、文化の壁に戸惑い、悩んでいる方が少なくありません。

(財)中国残留孤児援護基金では、厚生労働省の委託を受けて、戦争を知らない世代の方を含む多くの国民の皆様方に、こうした中国残留邦人の問題について少しでも知っていただこうと、この催しを開くことといたしました。この催しが、中国残留邦人の方々が抱える様々な困難を解決する一助となることを願っています。

申し込み方法 申し込み締め切り：2009年2月23日(月) 必着

● FAXの場合

下の申込書に必要事項を明記し、下記までご送信ください。

[FAX] 03-5468-0557

● 郵送の場合

下の申込書に必要事項を明記し、切り取って下記までお送りください。

〒107-0062 東京都港区南青山5-9-15
共同ビル新青山8F 中国残留邦人シンポジウム事務局

● Eメールの場合

下の申込書の事項を明記して次のアドレス宛へ送信してください。

info@zanryuhojin.com

※お申し込み先着順1,000名となります。

※ご登録いただいた個人情報は、このシンポジウムの運営業務のみに利用し、終了後速やかに廃棄します。

シンポジウムに関するお問合せは ☎03-5468-0569まで
(受付時間/平日10:00~18:00)

プログラム

13:30 ○ 開会

13:40 ● 山根基世による朗読「金のひしゃく」



山根基世

(元NHKアナウンサー、LLP「ことばの杜」代表)
1948年山口県生まれ。1971年早稲田大学文学部卒。同年、NHK入局。主婦や働く女性を対象とした番組、美術番組・旅番組・ニュース・「ラジオ深夜便」など幅広く担当。NHKスペシャルなどの大型番組でも、原稿を隅々まで耕し、手を入れつくした山根流の語りは、見るものに深い感慨を發酵させる。2005年女性として初代アナウンス室長。2007年NHK退職後、LLP「ことばの杜」設立。代表となる。

14:00 ● 大谷昭宏と山根基世の対談
「中国残留孤児に関して」(予定)



大谷昭宏

(ジャーナリスト)
1945年生まれ。東京都目黒区出身。大阪在住。早稲田大学政治経済学部卒業後、読売新聞大阪本社に入社。大阪府警捜査一課などを担当。1987年に読売新聞社を退社後、大阪に事務所を設けてジャーナリズム活動を展開している。「春美16歳の日本」など中国残留邦人に関する著書あり。

14:50 ● 中国帰国者の体験発表

15:30 ○ 休憩

15:50 ● 由紀さおりとBloom(ブルーム)による
ミニコンサート



由紀さおり

(歌手・女優)
群馬県桐生市出身。子供のころ、ひばり児童合唱団に所属、童謡歌手(コロムビア所属)として活躍。その後、NHKの歌のお姉さん、アニメの声優、CMソングなどで活躍し、1969年「夜明けのスカット」でデビュー、全国にスカットブームを巻き起こし、爆発的なヒットとなる。1986年にスタートさせた姉、安田祥子とのコンサートは、今年4月28日、29日東京国際フォーラム・ホールCで全国ツアーの初日を迎える。3月には、芸能生活40周年を迎え、記念アルバム、コンサートなど予定している。



Bloom

(大塚彩と叶友理子の女性デュオ)
2004年、洗足学園音楽大学でユリコとアヤが出会い、ユニットを結成。新人ながら、9月に武道館デビューを飾り、ライブを中心に活動中。デビュー曲「桜雪」を中国語で歌うほか、「蘇州夜曲」などアジアを意識したレパートリーも多く、注目のグループである。

17:00 ○ 閉会

申込書 **FAX 03-5468-0557**

ふりがな	性別 男 女	年齢	才
お名前			
〒 ご住所			
電話番号	職業		

※参加にはお名前の登録が必要です。複数でお申し込みの場合はコピーをおとりいただくか、別紙に同事項をご記入の上お申し込みください。